

第4代九州地方会会長挨拶

この十年を振り返って

鹿児島大学 名誉教授 小 椋 正

(第4代会長 平成8年4月～平成10年3月)



平成十四年三月定年退官した私は、生まれ故郷である東京を通り越して茨城県の笠間に行きました。元々陶器を見るのが好きだった私は、定年退官後は陶芸をやりたいと思っていたからです。ところが笠間の陶芸教室はお客さんであって陶芸を教えるところでないことが分かりました。そこで陶芸教室のすぐ下にある陶芸研究所に入れてくれないかと尋ねてみたら、笠間に定住する若手の陶芸家を育てるので貴方のような年寄りも駄目ですとのことでした。

そこで、私は東京近郊で陶芸を教えてくれる所がないかと探した結果、埼玉県に文化学院芸術専門学校が在る事を見つけ年齢制限がない事を確認してから受験しました。無事入学できたので東京の実家から片道二時間かけて三年間通いました。その次の年は東京芸術大学の陶芸科に研究生として一年間お世話になりました。

この間も私は歯科とも縁を切ることは出来ませんでした。土曜日と日曜日は自宅の診療と茨城県歯科衛生専門学校の講義と実習を担当しました。その他歯科医師会や色々な所から講演を頼まれ結構忙しい思いをしていました。現在でも私らの医療法人の役員と「すみれ歯科」の京成小岩の診療所の院長をしております。この様な結構充実した十年間でした。

平成25年3月10日